

東京湾要塞跡 国史跡指定記念シンポジウム

～猿島砲台・千代ヶ崎砲台の
歴史とその活用～

内 容

基調講演 「東京湾要塞について」
原 剛 氏

パネル・ディスカッション
「猿島砲台跡と千代ヶ崎砲台跡の保存と活用」
米山淳一氏
後藤 治氏 山下信一郎氏 野内秀明

日 時 平成 27 年（2015 年）**2 月 1 日（日）13:30** ～ 16:15 （開場 13:00）

場 所 横須賀芸術劇場小劇場 **ヨコスカ・ベイサイド・ポケット**

定員等 先着 400 人（入場無料、事前申し込み不要。当日、直接会場にお越し下さい）

主 催 横須賀市／横須賀市教育委員会

協 力 近代歴史遺産活用事業推進協議会

お問い合わせ 横須賀市政策推進部文化振興課：電話 046-822-8116

〔詳しくは裏面をご覧ください〕

東京湾要塞跡史跡指定記念シンポジウム

横須賀市には明治・大正期に建設された東京湾要塞を構成する砲台跡が存在しています。それらは煉瓦造、石造、コンクリート造等、当時の建築技術とその変遷を窺い知ることのできる貴重な近代化遺産です。

今回、「我が国近代の軍事、土木・建築技術の歴史を知る上で重要」と国の評価を得て史跡に指定されます。横須賀市ではこれを契機として、その価値を市民の皆さんと共有し、どのようにして次世代へ残していくか、そして、どのようにまちづくりや観光資源として活かすのかを考えるためにシンポジウムを開催します。

東京湾要塞とは

首都東京および横須賀軍港を防衛するために東京湾口部に建設された沿岸砲台とその背面防御の堡塁砲台などから構成される陸軍防衛砲台群。

明治 13 年(1880 年)起工の観音崎砲台に始まり明治 20 年代までに起工した要塞建設期といわれる時期に 20 の砲台が建設され、その後大正時代から昭和初期の要塞整理期・震災復旧期といわれる時期に 12 の砲台が建設されました。

猿島砲台とは

猿島に所在。明治 14 年（1881 年）起工、明治 17 年（1884）竣工。二つの砲台があり、第一砲台は 27 cm 加農（カノン）砲 2 砲座 2 門、第二砲台は 24 cm 加農砲 4 砲座 4 門。煉瓦造・石造。煉瓦の組積法はフランドル積（フランス積）で、煉瓦の製造元は東洋組。



猿島砲台跡：塁道と隧道



猿島砲台跡：累道と弾薬庫

講師とパネル・ディスカッション出席者の紹介

基調講演 「東京湾要塞について」

(講師)

原 剛 氏 軍事史学会副会長

パネル・ディスカッション 「猿島砲台跡・千代ヶ崎砲台跡の保存と活用」

(コーディネーター)

米山 淳一氏 公益社団法人横浜歴史資産調査会常務理事

(パネラー)

後藤 治氏 工学院大学建築学部建築デザイン学科教授

山下信一郎氏

工学院大学建築学部建築デザイン学科教授

山下信一郎氏

文化庁記念物課史跡部門文化財調査官

野内 秀明氏

横須賀市教育委員会事務局生涯学習課主任



猿島

千代ヶ崎砲台とは

西浦賀6丁目に所在。明治25年(1892年)起工、明治28年(1895年)竣工。
28 cm榴弾砲3砲座6門。煉瓦造・石造・コンクリート造。煉瓦の組積法はオランダ積で、製造元は小菅集治監。普通煉瓦の他、露天部に焼過煉瓦を使用。



千代ヶ崎砲台跡：砲座

[illegible]

名 称 横須賀芸術劇場小劇場「ヨコスカ・ベイサイド・ポケット」

住 所 横須賀市本町 3-27

電話 046-828-1600

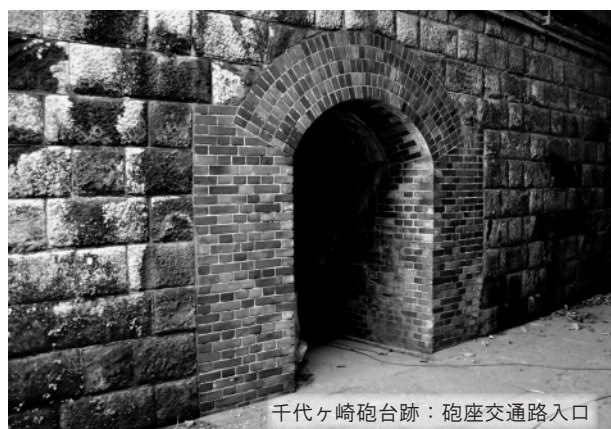


電車を利用の方

- ▶ 京浜急行汐入駅から徒歩2分
- ▶ JR横須賀駅から徒歩8分
- ▶ 会場の入口は、ベイスクエア
よこすか1番館4階です。
- ▶ 国道16号側のエスカレーター
をご利用ください。

車をご利用の方

- ▷ 上り方面からは、歩道橋を過ぎてすぐの信号でUターンし、左折して地下駐車場へ。
- ▷ 地下駐車場は一般駐車場のため、曜日・時間帯によっては、大変混雑します。特に車高が1.7mを超える車は駐車できない場合もありますので、ご注意ください。
- ▷ 駐車場は30分200円。



千代ヶ崎砲台跡：砲座交通路入口